

## 事前復興まちづくり計画とは

発生しうる災害による被災の分布や規模を想定し、復興後の空間を計画するものであり、復興まちづくりの目標や実施方針、目標の実現に向けた課題、及び課題解決のための方策をとりまとめたものである。

出典:「事前復興まちづくり計画検討のためのガイドライン(国交省)」

## 計画策定の効果

- 発災後の膨大な業務に追われながらも、速やかに復興計画の策定に取りかかることができる。
- 事前の計画策定により、被災後のまちの機能回復に要する時間が短縮される。
- 元のまちに戻すだけでなく、被災前よりも災害に強いまちを目指す等、より良い復興が行われることが期待できる。

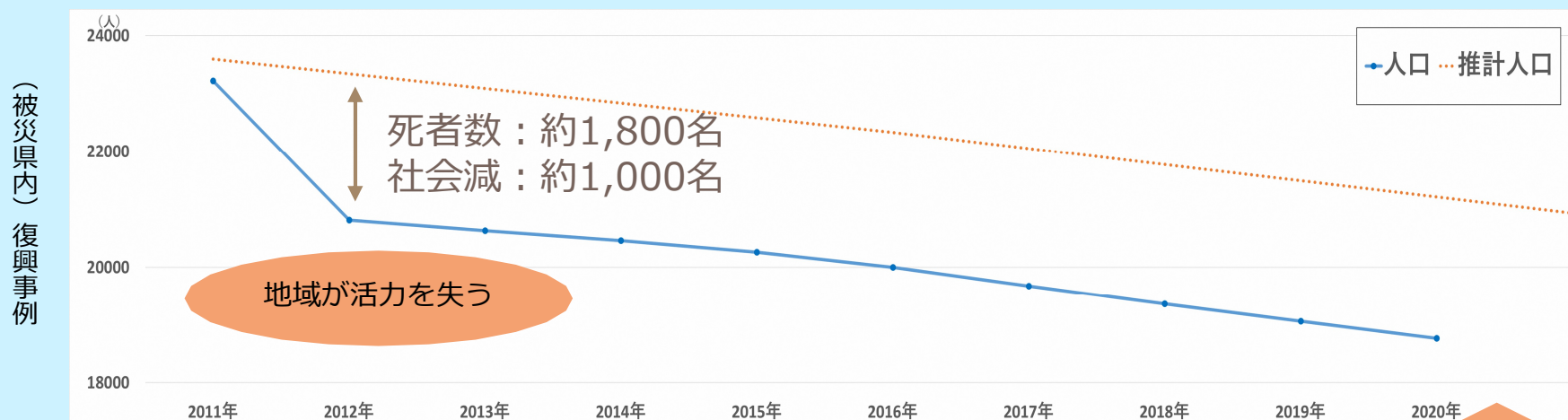
# 東日本大震災の教訓

東日本大震災では、多数の市町村職員が被災するなかで、膨大な震災対応業務に追われ、復興計画の策定に長期間を要し、復興事業への着手が遅れた。



住民や企業は疲弊し、再建する意欲を失ってしまうなど、地域の活力（人口）が失われてしまった。

## <陸前高田市の人口推移>



人口：住民基本台帳より，推計人口：日本の市町村別将来推計人口（平成20年12月推計）より，社会減：市統計書（平成30年版）より死者数（行方不明者を含む）：「東北地方太平洋沖地震に係る人的被害・建物被害状況一覧」（平成29年2月28日現在）より

社会減  
命は助かったとしても  
まちから離れてしまった人口

# 復興まちづくりの事例

宮城県名取市では**現地再建**により新しいまちが形成されている。

## <名取市の状況（東日本大震災時）>

人口：72,350人（H23.3）

死者：911人

行方不明者：65人

### 被災前のまち

#### 魅力

- 農地が多い
- 川沿いの景色がきれい

#### 課題

- 住宅が密集
- 道路の渋滞

復興



## <新しいまちの特徴>

- 避難路となる広い道路の整備
- 津波避難ビルとなる市営住宅の整備
- 河川の景観を生かした観光・にぎわい拠点の整備



出典：Google ストリートビュー



高知県職員撮影



出典：国道交通省  
かわまち大賞HPより。

## <まちの復興状況>



被災前のまちの様子（2010年4月）



被災直後のまちの様子（2011年3月）



復興後のまちの様子（2022年9月）

## 想定する災害及び被害状況

### ◆災害

「南海トラフ地震」における最大クラスの地震（マグニチュード9.1）

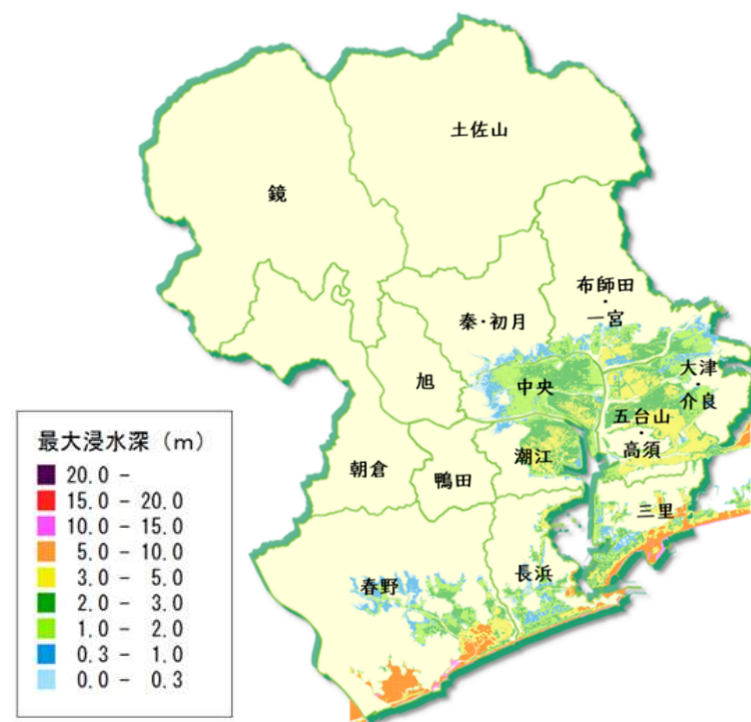
### ◆被害状況

津波と揺れによる被害が発生。未耐震の建築物の多くは倒壊し，津波浸水深が高いところでは住宅が壊滅的な被害を受け，もしくは流される状況を想定。

## 市域全体と津波浸水ハザード重ね図

地区別の事前復興まちづくり計画の対象区域は，津波浸水想定区域内の大街単位を想定。

※令和6年2月以降，高知県から河川・海岸堤防等の構造物の整備状況を考慮した津波浸水シミュレーションが提供される予定。



# 計画策定への取組手順（「高知県事前復興まちづくり計画策定指針」を一部変更）

## STEP 1 行政内部の検討

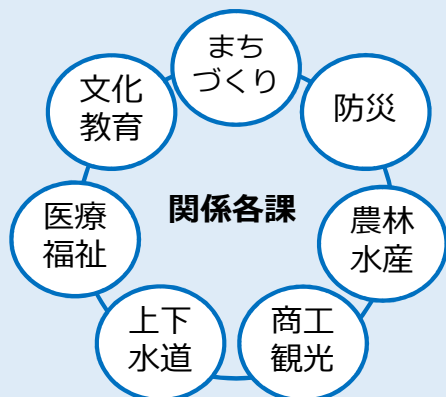
令和5・6年度  
復興基本方針(案)の策定

- 高知市の現状整理・課題分析



- 復興方針の作成
- 復興組織の設置

現時点



- 復興手順の作成
- 対象区域の選定

連携

高知県

令和6・7年度  
地区別事前復興まちづくり計画(素案)の作成

復興計画の区域(対象区域)

区域の現状整理・課題分析

復興計画の目標

地形等によるパターンの検討

可住地の検討

土地利用の検討

現位置での  
復旧

高台移転

(防災集団移  
転促進事業)

現位置での  
面整備

(土地区画  
整理事業)

拠点整備

(津波防災拠  
点整備事業)

復興整備事業の効果を増大させるために必要な事業

復興計画の期間

## STEP 2 地域住民等の参画

令和7・8年度  
地区別事前復興まちづくり計画(案)  
の策定

多様なメンバーによる検討

- 検討メンバーの選定  
(行政・学識経験者等)
- 多様な意見を反映させた事前  
復興まちづくり計画の策定

住民との合意形成

- 合意形成の手順や取組方法の  
検討
- ワークショップ等を重ねて合  
意形成を図る

地域住民

幅広い世代,  
多様な立場の方々  
による検討

復興期間の短縮を目指す

# 事前復興まちづくり計画の策定について

現在、復興基本方針（案）の策定に取り組んでいるところである。

## 【高知市総合計画】

- まちづくりの理念 「自然と人の共生 人と人の共生 自然と人とまちの共生」
- 将来の都市像 「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」

## 【高知市における事前復興まちづくりの方向性】

自然災害は、まちづくりと切り離すことのできないものであり、災害後も向き合っていく必要がある。復興にあたっては、市民の総力をあげ、被災を繰り返さず、地域の課題を解決できるような安全・安心なまちづくりを進める必要がある。発災後も、引き続き市民や事業者が市内にとどまり、持続可能なより良い将来を築けるよう、地域の暮らしやコミュニティ、魅力を守り育て、だれもが安心して住み続けられるまち、高知を目指す。

- 目指すべき姿
  - 案1 「発災後も住み続けたい 愛されるまち 高知」
  - 案2 「だれもが安心して住み続けられるまち 高知」
  - 案3 「ひと・まちが輝く 災害に強いまち 高知」

## ■ 高知市復興方針（素案）

### 基本理念 1

安全安心な  
まちの再生

災害による被害を最小限にとどめることのできる、安全なまちづくりを行う

### 基本理念 2

住まいと  
暮らしの再建

様々な手法を組み合わせ、安全で快適な居住環境を迅速に整える

### 基本理念 3

なりわいの  
再生

産業活動の早期再開と地域資源の活用により、経済の再生を図る

### 基本理念 4

歴史・文化の  
保全と継承

被災後も、脈々と地域に根ざした歴史や文化などの地域資源を次世代に継承する

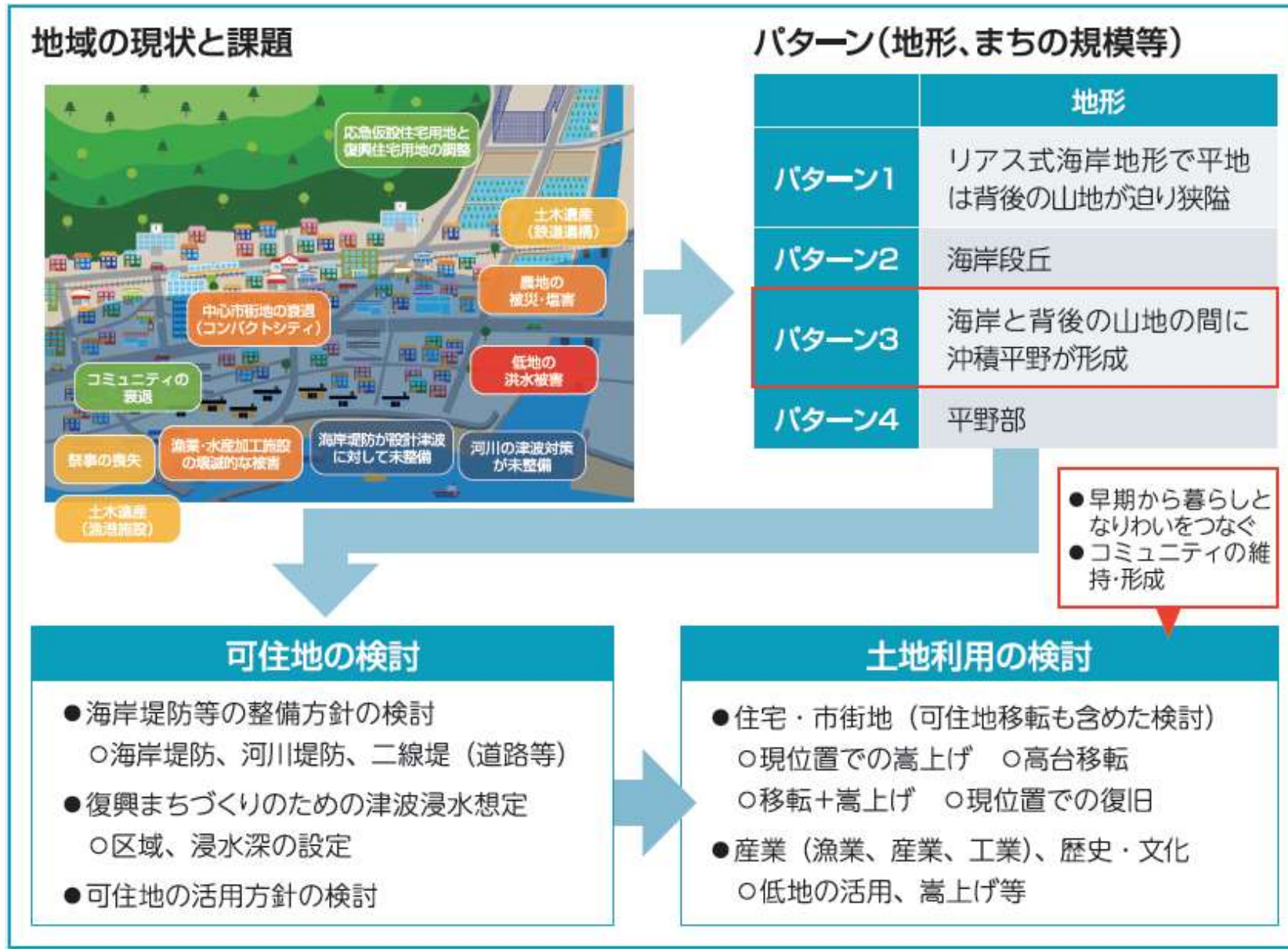
### 基本理念 5

地域共生社会  
の実現

コミュニティ活動の促進や地域防災力の向上により、地域共生社会を実現する

# 地区別事前復興まちづくり計画の検討手順（令和6・7年度）

地区別の地域の現状と課題を抽出し，地形，まちの規模等を見定め，可住地(住んでいい場所)や土地利用の検討を行う。

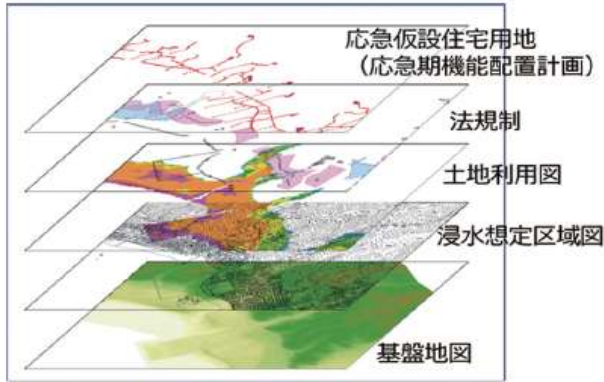


# 地区別事前復興まちづくり計画の検討手順（令和6・7年度）

## ＜復興パターンの作成における具体的な作業＞

（1）関連資料を重ね合わせて地域の現状整理・課題分析を行う。

＜イメージ図＞



- ・人口の現状及び将来の見通し
- ・基幹産業への影響
- ・土地利用への影響
- ・歴史・文化を継承する視点
- ・利用可能地の見通し
- ・地区の持続可能性（地区の孤立、インフラネットワーク寸断 等）

など

（2）可住地及び土地利用を検討して復興パターンを作成。

### ①可住地の検討

- ・なんとしても命を守ることを基本とし、高台移転、現位置での高上げ、多重防御等を織り交ぜて検討する。

### ②土地利用の検討

- ・人口減少、少子高齢化、担い手不足などの諸課題を解決する先進的なまちづくりを考慮する。
- ・なりわいと暮らしが応急期から復興期間を通じて連続的に確保できるよう、早期再建の観点を踏まえ、面的な土地利用に加えて時間的な概念を持って検討する。
- ・地盤沈降による長期浸水被害に備えて、土地利用においても浸水リスクを低減・回避する方策や、浸水リスクが残存する場合の課題について検討する。

など



**東日本大震災の事例等も参考にし、概算の事業費を想定するなど総合的な検討を行う。**

（3）複数のゾーニングを作成し、地元ワークショップのたたき台とする。

＜ゾーニングイメージ図＞

たたき台①  
現位置での復興



たたき台②  
移転・高上げによる復興



- |             |           |
|-------------|-----------|
| ■ 居住ゾーン     | ■ 公共公益ゾーン |
| ■ 居住ゾーン（高層） | ■ 産業ゾーン   |
| ■ 商業・観光ゾーン  | ■ 漁業施設ゾーン |
| ■ 公園・緑地ゾーン  | ■ 農業ゾーン   |



# 事前復興まちづくり計画の事業スケジュール

- 令和5・6年度 復興基本方針（案）の策定
- 令和6・7年度 地区別事前復興まちづくり計画（素案）の作成
- 令和7・8年度 地区別事前復興まちづくり計画（案）の策定
- 令和8年度末の完成を目指す

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
<b>復興基本方針(案)の策定</b> (令和6年6月末) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復興方針（案）の作成</li> <li>・ 復興体制の整備</li> <li>・ 復興手順書の作成</li> <li>・ 対象地区の選定</li> </ul>			
	<b>地区別事前復興まちづくり計画（素案）の作成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象地域の現状分析及び課題抽出</li> <li>・ 地形等による復興パターンの検討</li> <li>・ 土地利用の検討</li> </ul>		
		<b>地区別事前復興まちづくり計画（案）の策定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元ワークショップの開催 等</li> </ul>	

事前復興まちづくり計画策定